

伊勢志摩区域の平成30年度具体的対応方針(案)

とりまとめ総括

- ・2025年の病床数の必要量と2025年に向けた医療機能ごとの病床数との比較では、病床総数は326床過剰であり、全体的なスケールダウンが必要である。
- ・定量的基準導入後の各医療機能の充足状況を見ると、慢性期機能のみ不足であることから、合意とする。
- ・合意としない高度急性期・急性期・地域急性期・回復期病床については、毎年度、協議を繰り返していく中で合意を図っていくこととする。

2017年病床機能報告(アンケート調査反映後)							2025年に向けた役割・医療機能ごとの病床数						
医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計	担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数					介護保険施設等に移行
								高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	
伊勢赤十字病院	238	393	20			651	高度急性期・急性期医療や政策医療に関する中心的な役割を担う。 ☑救急 ☑小児 ☑周産期 ☑災害	(273)	(358)	(20)			
市立伊勢総合病院	49	200	30	43		322	市民のための病院として急性期・専門医療・ケアの充実を図り、予防、医療、介護等における市の施策を他の関係機関・団体と協働して推進、遂行し、地域包括ケアシステム構築・発展に寄与する。 ☑救急 ☐小児 ☐周産期 ☑災害		(192)	(57)	(30)	43	
県立志摩病院		206	30			236	志摩地域の急性期病院としての役割を引き続き担っていくとともに、回復期機能も併せ持つ地域の中核病院としての役割を担う。また、へき地医療拠点病院としての役割を担う。 ☑救急 ☐小児 ☐周産期 ☑災害		(104)	(132)			
志摩市民病院				60	17	77	基幹病院と連携しながら急性期治療を終えた患者を受け入れ、回復期機能と慢性期機能を担う。また、地域包括ケアシステムの構築に取り組む。			(56)		20	
町立南伊勢病院		50		26		76	地域における一次救急体制を維持するとともに、回復期機能の充実に取り組む。また、地域包括ケアシステムの拠点施設としての役割を担う。			(50)			
玉城病院				50		50	回復期機能を担うとともに、地域包括ケアシステムの中心的役割を担う。					50	
伊勢慶友病院		40	47	166		253	高度急性期病院の後方支援を担い、療養病床を維持しつつ、地域ニーズにあわせ、回復期リハビリテーション病床を増床する。			(40)	(60)	153	
伊勢田中病院			83			83	基幹病院と連携しながら、急性期治療を終えた患者の受入と回復期機能を担うとともに、在宅や介護施設から入院のサブアキュート機能を担う。			(83)			
豊和病院				60		60	難病患者や、在宅での生活が不可能で、常時医療的処置を必要とする患者が入院療養する機能を担う。					60	
医療法人白奉会 中嶋医院		19				19	内科、外科、整形外科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能、③在宅医療の拠点としての機能、④終末期医療を担う機能を担う。			(19)			
畑肛門医院		19				19	肛門外科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。			(19)			
伊勢志摩レディースクリニック		19				19	産婦人科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。			(19)			
医療法人社団整形外科網谷医院		19				19	整形外科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する機能を担う。			(19)			
寺田産婦人科		19				19	産婦人科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。			(19)			
菊川産婦人科		18				18	産科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。			(18)			

2017年病床機能報告(アンケート調査反映後)						
医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
小原産婦人科		17				17
医療法人 玉石産婦人科		16				16
うにた医院		9				9
中條眼科志摩分院		8				8
医療法人西井耳鼻咽喉科		3				3
さいとう内科呼吸器科三重スリープクリニック		3				3
南島メディカルセンター			15			15
山崎外科内科			10			10
河崎クリニック				19		19
石橋外科内科				19		19
医療法人和親会 本橋産婦人科					12	12
計	287	1,058	235	443	29	2,052

2025年に向けた役割・医療機能ごとの病床数						
担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数					介護保険施設等に移行
	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	
産婦人科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。			(17)			
産婦人科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。			(16)			
肛門外科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する機能を担う。			(9)			
眼科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する機能を担う。			(8)			
耳鼻咽喉科、アレルギー科、気管食道外科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。			(3)			
呼吸器内科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。			(3)			
内科、整形外科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能、③在宅医療の拠点としての機能、④終末期医療を担う機能を担う。				(15)		
内科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能、③在宅医療の拠点としての機能、④終末期医療を担う機能を担う。				(10)		
眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②終末期医療を担う機能を担う。					19	
外科、内科、整形外科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②在宅医療の拠点としての機能、③終末期医療を担う機能を担う。					19	
(過去1年間に入院患者を収容しておらず、6年後も休棟中等であり、今後の運用見通しについて、「再稼働の予定なし」としていることから、病床維持の必要性について確認が必要)						
計	273	654	607	115	364	0

(計)					
2025年の病床数の必要量	216	527	501	443	1,687
2025年の病床数の必要量と2025年に向けた医療機能ごとの病床数との差	57	127	221	-79	326
協議を継続することとした病床数	273	654	607	115	0